



KKR東海病院

第47号 2015.1

編集責任者 丸田真也(診療部長)

# とうかい



国家公務員共済組合連合会 東海病院  
〒464-8512  
名古屋市千種区千代田橋1-1-1  
TEL 052-711-6131(代)  
FAX 052-712-0052  
<http://www.toukaihosp.jp/>

新年のご挨拶  
院長 山本 英夫 ..... 1

内視鏡について  
内科医長  
石川 英樹 ..... 2

新任医師のご紹介  
内科医師  
田中 達也 ..... 3  
共済医学会報告 ..... 3

東海病院・名城病院  
合同勉強会のご案内 ..... 4  
ホームページの  
リニューアルについて ..... 4  
診療等のご案内 ..... 4



## 2015年 年頭挨拶



東海病院  
院長 山本 英夫

新年あけましておめでとうございます。

昨年当院は、開院60周年を迎えることができました。結核病院として設立され、結核の終焉とともに停滞した時期もあり、開院以来決して順調な道のりではありませんでした。人間でいう“還暦”を迎えることができたのも、これまで当院をご利用いただいた診療所の先生がたのご支援と多くの職員一同の働きによるものと感謝申し上げます。

昨年4月は診療報酬の改訂、消費税の8%へのアップ、院長の交代と慌ただしい新年度のスタートでした。消費税アップ分を補填して0.1%プラスの診療報酬改訂ということでしたが、ふたを開けてみるとマイナス改訂といってもおかしくないものであり、加えて消費落ち込みによる受診抑制があったのか多くの医療機関にとっては厳しい一年でした。団塊の世代の方々が後期高齢者になる2025年問題については、もう10年後のことであり、病床機能報告制度も始まりました。超高齢化社会の到来で大都市圏中心に病床が足りなくなると予想されており、愛知県でも2025年には1万人分、40年には2万人分が足りなくなるとの推計も出ております。当院も一般急性期のみでいくのか、亜急性期・回復期も加味していくのかを選択していかなければなりません。本年4月から当院も10床ではありますが、地域包括ケア病床を設置します。それに合わせてデータ提出加算、後発医薬品の採用準備なども進めております。今後慢性期に対してもDPCが適用されると予想され、DPC準備病院に手挙げする必要があるでしょう。

現在の老朽化、狭隘化した病棟では、医療安全・感染対策上の問題もあり、また考えようによっては人間としての尊厳にかかわる問題にもなりえ、建替えないしは内装に手を加えることも必要と思います。敷地内の樹木も成長し過ぎており、その整備も必要でしょう。

消費税10%へのアップが1年半先送りされたことにより、社会保障の充実のための予算が不足し、また安倍政権下では医療費抑制策が続くとも予想されています。このような厳しい医療情勢の中ではありますが、我々は病院発展と建替え実現のため、今年も一步一步歩みを続けていきたいと思っております。

### KKRとは?

国家公務員共済組合連合会の  
頭文字をとった略称です。  
私たちはみなさまにKoKoRo(心)の  
こもったサービスを提供するための

誠意 (Sincerity)

奉仕 (Service)

考動 (Science)

3つのSをモットーに、  
地域社会への貢献を目指しています。

# 超音波内視鏡下穿刺及び 十二指腸乳頭部腫瘍に対する内視鏡的乳頭切除術

東海病院 内科医長 石川 英樹

## 【EUS-FNA】

EUS-FNAとはEUS-guided fine needle aspiration、超音波内視鏡下穿刺という診断法です。名前の如く内視鏡を用いた診断法です。具体的には静脈麻酔下に胃内視鏡検査と同様に経口的にスコープを挿入し、食道、胃、十二指腸を介して穿刺する方法と大腸内視鏡検査を行うように経肛門的にスコープを挿入して直腸、結腸を介して穿刺する方法があります。当院では1泊2日で検査が可能です。従来の診断法では体内に腫瘍があった場合、エコー、CTなどの画像診断で診断が困難な場合、悪性が否定できないがために、外科的切除となる患者さんや、治療方針決定のために全身麻酔下に開腹または開胸腫瘍生検をした後に、外科的手術または化学療法、放射線療法と治療方針が決定する患者さんがおられました。この手技を用いれば、外科的手術となる前に、経消化管的に超音波で認識可能な腫瘍であれば穿刺して確定診断をすることが可能であり、過大な手術を避けることが可能です。対象となる疾患は縦隔リンパ節腫大、腹腔内リンパ節腫大、食道粘膜下腫瘍、胃粘膜下腫瘍、十二指腸粘膜下腫瘍、胆嚢腫瘍、胆管腫瘍、膵腫瘍、副腎腫瘍、腹腔内腫瘍、直腸粘膜下腫瘍など様々な疾患の診断に有用です。また平成22年4月より保険適用となり全国的にも普及しつつあります。検査時間は30分程度であり、静脈麻酔下に行うため苦痛が少なく済みます。更に正診率は95%と高率です。現在までに300例以上のEUS-FNAを経験し偶発症は経験しておりません。

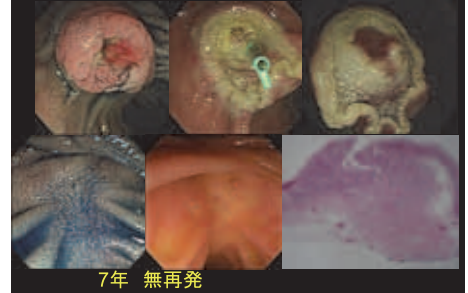
診断でお困りの患者さんがおられましたら是非ご相談下さい。

### 【内視鏡的乳頭切除術の適応】

- ① 腺腫及び腺腫内癌(胆嚢管内進展陰性)
- ② 腫瘍が疑われるが生検陰性例  
(total biopsy目的)  
相対的適応
- ③ 早期癌(開腹手術困難例および手術拒否例)

石川英樹, 山崎健次 十二指腸乳頭部腫瘍の治療をどう進めるか  
消化器の臨床 480-485 Vol.10 No.5 2007

### 【手術不能症例 pap, od, pDu1a以上pEM2】

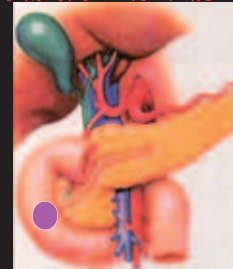


## 【十二指腸乳頭部腫瘍に対する内視鏡的乳頭切除術】

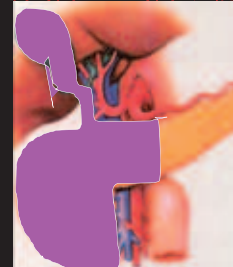
十二指腸乳頭部腫瘍には良性の腺腫や悪性の腺腫内癌、腺癌などがあります。内視鏡的乳頭切除術(以下EP)とは、大腸ポリープを切除するのと同様の方法で乳頭部を切除する方法です。しかし、十二指腸や胃は大腸に比べて管腔が狭いことや、胃や大腸内視鏡では直視鏡(先端にレンズ)ですが、十二指腸鏡は内視鏡の長軸に対して90度直角方向にレンズがついた側視鏡であり、走査が非常に難しいのです。そのため高度な技術を要するため、EPはごく限られた施設でしか施行できません。また腺癌に関しては、膵頭十二指腸切除という外科的切除が標準治療であり、手術時間は8~9時間、入院期間は約3週間かかります。腺腫や腺腫内癌に対してはEPが可能であり、手術時間は約20分、入院は7~10日間で済みます。適応としてこれまでに55例に施行し、患者さんは沖縄県、富山県、千葉県、滋賀県など遠方よりお越し頂いています。当科では全国に先駆けて、開腹手術困難例の一部の乳頭部癌に対してもEPを施行しておりますが、術後7年無再発の症例もあり経過は良好です。

十二指腸乳頭部腫瘍の患者さんがおられましたら是非ご紹介下さい。

内視鏡的乳頭切除術  
平均手術時間 20分 入院10日間



膵頭十二指腸切除  
平均手術時間 8~9時間 入院3週間





## 新任医師のご紹介



●内科医師 ●田中 達也(たなか たつや) ●診療科：内科

平成26年10月より内科に赴任しました田中達也と申します。  
平成21年に神戸大学を卒業し、大垣市民病院で初期研修2年間、消化器内科の後期研修3年間を行い、同院で半年間の医員を経ました。  
当院では内科医員として主に消化器疾患を中心に外来、入院診療、検査治療等の業務を担当させていただきます。  
また内科医として消化器疾患以外の分野につきましても、患者様の立場にたち、安全で安心な医療をご提供し質の高い診断・治療を心掛けたいと思います。  
今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 第63回共済医学会報告

東海病院 看護部

10月22日(水)～23日(木)にかけて、第63回共済医学会が名古屋で開催されました。当院も医局2題、薬剤科1題、看護部2題の一般演題発表をしています。

このうち内視鏡センターの発表「上部消化管内視鏡検査における咽頭麻酔方法の検討～スプレー法の導入へ～」を紹介します。

**【目的】** 内視鏡センターの咽頭麻酔の方法は、塩酸リドカインビスカス（以下ビスカス）を3分間含んだ後嚥下していました。より良い方法として、麻酔の即効性があり内視鏡技師会等で報告されているキシロカインスプレー（以下スプレー）のみの咽頭麻酔法が効果的であるか検証しました。

**【方法】** 前年に当院人間ドックにてビスカス法咽頭麻酔で上部消化管内視鏡検査を受け、スプレー法について協力を得た受診者100名を対象に、約1ヶ月調査しました。検査後にアンケート調査を実施し、スタッフも検査時の客観的評価チェックリスト記入をおこないました。倫理的配慮も留意いたしました。

**【結果】** アンケート回収率は100%でした。スプレー法は「楽だった63% やや楽だった21% 変わらない8%」、「よく効いた65%」、前回ビスカス法と比較して検査は「楽だった59% やや楽だった22% 変わらない14%」、次回選択は「スプレー法96%」という結果でした。咽頭を直視して確実に麻酔を行えるため効果が高く、咽頭に3分溜める苦痛からも解放され、検査の苦痛が軽減されると思います。また、3分間溜める時間が不要で、効率良く咽頭麻酔が行えるようになったというスタッフからの声もあがりました。

**【結論】** スプレー法はビスカス法と比較して麻酔効果は同等もしくはそれ以上あり、患者受容度が高く苦痛度は低いため、優れた麻酔法であるという結論に至りました。  
キシロカインスプレーによる麻酔法は、現在当院内視鏡センターの咽頭麻酔法として導入しています。ご希望があれば、従来法の麻酔法もおこなっています。



今後とも内視鏡センターのご利用をお願いいたします。

# 東海病院・名城病院合同勉強会のご案内

下記の日程にて、東海病院・名城病院合同勉強会を開催させていただきます。  
詳細が決定次第、ご案内させていただきますのでご出席、よろしくお願いいたします。

日時 平成27年2月28日(土)  
会場 **ホテルルプラ王山**  
〒464-0841  
名古屋市千種区覚王山通8-18  
052-762-3105

講演・症例検討 15:00～  
懇親会 17:00～



講演は当院、内視鏡外科手術センター 顧問 長谷川 洋  
演題「内視鏡外科手術 –これまでの歩みと今後の展望–」  
症例は当院、内科医長 荻野 淳史  
演題「最近経験した大動脈解離の症例  
他 名城の症例1例 計3題の予定です。

## ホームページのリニューアルについて

平成26年12月より、  
当院ホームページを新たにリニューアルいたしました。

<http://www.toukaihosp.jp/>

今後も皆様のご意見を頂きながら、更新していく予定です。  
是非ご覧いただきますようお願い申し上げます。



## 東海病院診療等のご案内

診療科 内科（消化器科・循環器科・呼吸器科）  
外科（消化器外科・血管外科・一般外科）  
整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、皮膚科

受付時間 午前8:30～午前11:30  
※午前8:30～午前11:00(整形外科)

休診日 第2・4土曜日  
(第1・3・5土曜日は上記診療時間で受付を行っております)  
日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

所在地 〒464-8512 名古屋市千種区千代田橋1-1-1  
電話 TEL 052-711-6131 FAX 052-712-0052

アドレス <http://www.toukaihosp.jp/>

交通 地下鉄・名城線茶屋ヶ坂駅②番出口より約7分  
バス・基幹バス汁谷下車約1分

